

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	49	—	事業名	総合型スポーツクラブ運営事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	----------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	款	9	教育費
		施策の進め方	1	スポーツ活動の推進	項	5	保健体育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	保健体育費
		政策分類	-		大事業	7	総合型スポーツクラブ運営事業
	その他(関係法令、要綱等)		-				
事業開始の背景、経緯等		地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する総合型地域スポーツクラブの運営を図る。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) いつでも、どこでも、誰でも参加できる様々な年齢を問わず参加できるスポーツ教室や健康づくり教室の開催や場の提供を行う総合型地域スポーツクラブの運営推進					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学含む)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与する。					
	事業を構成する事務事業	① 総合型地域スポーツクラブ運営事業	改善・見直し	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,833	3,181	3,526
決算					2,170	2,879	2,712	
人件費(B)	千円	決算		2,901	3,430	4,219		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		5,071	6,309	6,931		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 会員数	人	目標	441	422	469	570	598
			実績	402	447	543	570	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 年度更新である会員数の増加を目標とする。前年の会員数+5%を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町で独自にクラブ運営を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 会員数570人の目標に対して目標を達成することができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市から独立したクラブ運営となっておらず、自立組織の形成が必要である。 また、スポーツ教室等事業については、漫然と前年度事業を踏襲するのではなく、市民ニーズを的確に把握する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 自立に向けた組織の形成及び事業のあり方について、関係者と検討すると共に、クラブの活動拠点についても検討していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成31年度までに策定する市スポーツ推進計画において、総合型地域スポーツクラブのあり方について検討する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	総合型スポーツクラブ運営事業							
番号	①	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営事業	款	9	項	5	目	1	大事業	7	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成24年度		終了（予定）年度		-						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,833	3,181	3,526	3,572
		決算		2,170	2,879	2,712	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		総合型地域スポーツクラブ教室等講師委託				1,602	千円
②		総合型地域スポーツクラブ指導者報償金				792	千円
③		入場料				178	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
会員数	人	目標	441	422	469	570	598
		実績	402	447	543	570	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる教室を37教室開催し、570人の会員登録があった。H30年度の目標は、会員登録数を前年度の+5%とする。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

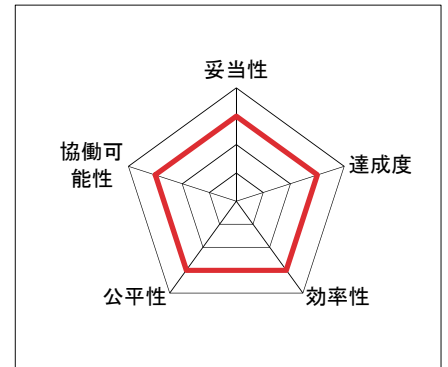
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
スポーツが多様化し、スポーツに対するニーズも様々なものとなっている。また、健康志向の強いスポーツが増加している。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
教室毎にアンケート等を実施し、教室参加者の求める教室を把握し変化を付けたい。
(何をどのような状態に改善したのか)
・アンケートの実施により、参加者のニーズを把握し、前年度小3～小6で行った野球教室を、年中・年長、小1～小3、小4～中学で開講したところ、ほぼ全てにおいて受講率100%で開講することができた。
・先進地視察を行い、本市における総合型地域スポーツクラブのあり方、自立した組織を整備するための研究を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
子どもから大人まで、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツ教室を37教室開講し、健康と体力の維持増進に貢献できた。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
・前年度を比較した場合、教室の内容に変化がないため、市民のニーズを把握する必要がある。
・クラブの自立運営ができていない。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
・スポーツの多様化に対応し、スポーツに親しみのない人にもスポーツを通じた健康づくりを促していくため、毎年同様の教室ではなく、アンケートを行うなど市民のニーズを把握し、事業展開していく必要がある。
・クラブの活動拠点を整備検討していくとともに、自立組織の形成を図っていく必要がある。